

7 WORKBOOK

行動計画を立て、小さな一歩をかたちにする

7章では、6章で紹介したフレームワークを実践することができるワークシートを紹介します。各自治体の公共交通の課題に沿って、実践してみてください。

空・雨・傘のフレームワーク

7章では、6章で紹介したフレームワークを実践することができるワークシートを紹介します。各自治体の公共交通の課題に沿って、実践してみてください。

| 空（気づき） | 雨（考察・仮説） | 傘（次の打ち手） |
|--------|----------|----------|
| | | |

7 WORKBOOK

行動計画を立て、小さな一歩をかたちにする

データ分析計画立案の例

6章で説明した「データ分析計画立案項目」に沿って、課題の具体化について考えましょう。

例 設定課題：年々減少している町内のコミュニティバスの利用者数を増やす

ある自治体では、町内を運行するコミュニティバスの利用者数が年々減少しており、公共交通の維持・確保が大きな課題となっています。高齢化の進展や自家用車依存の高まり、生活様式の変化など、さまざまな要因が影響している可能性があります。現状ではその要因が十分に整理されているとはいえません。そこで「年々減少している町内のコミュニティバスの利用者数を増やす」という課題をテーマに、分析計画を立案します。



効果指標

- [KGI] コミュニティバス年間利用者数を3年で20%増加させる
- [KPI]
- ・ 1便あたりの平均乗車人数
- ・ 平日昼間（10～15時）の利用者数
- ・ 65歳以上の利用登録者数

分析目的

利用者減少の要因を明らかにし、「どの層・どの時間帯・どのエリア」に対策を打つべきかを特定する

仮説

- ・ 高齢者の生活圏にとっての最適な移動手段として選ばれていないのではないか
- ・ 昼間便の本数や時刻が生活実態と合っていないのではないか

アプローチの視点

- ・ 利用者数の時系列分析（年度別・月別・時間帯別）
- ・ バス停別乗降データの可視化（GISによるヒートマップ）
- ・ 人口動態とのクロス分析（高齢化率との比較）
- ・ 高齢者の主要利用施設（病院・商業施設等）と運行ルートの比較

必要データ

- ・ 便別・停留所別の乗降データ
- ・ 町内人口データ（年齢別・エリア別）
- ・ 世帯の自動車保有率
- ・ 主要施設の立地情報
- ・ 住民意向調査結果

7 WORKBOOK

行動計画を立て、小さな一歩をかたちにする

データ分析計画立案シート

| 効果指標 | 分析目的 | 仮説 | アプローチの視点 | 必要データ |
|-----------------------|-------------------|---------------------|------------------------|------------------------------------|
| どんな状態が理想的か 改善すべき指標 | 見出したいこと 伝えたいこと | 何が言えればそれが 実現できるか | どのように表現するか (可視化の方法) | どのようなデータを どう集めるか どのくらいの期間必要か |
| | | | | |

必要データの収集の検討

分析に必要なデータを収集する方法として、e-statなどのweb上で提供されているデータや、ウェブAPI、社内のデータベースを利用する方法があります。また、データが存在しない場合には、新規で調査をするなどし、データを取得することもあります。必要データで挙げたデータの取得方法と取得にかかる費用についても検討しましょう。